

桑谷山 924.9m

地形図「久多・花脊」

ポンポン山雑感

2019年7月8日

三鍋敏郎

当初の計画は大悲山から登る予定であったが、山行が6年振りだというメンバーがいたので本日はショートカットで、大悲山を外しての山行となった。

桑谷林道を北東沿いに進む、道端に葉っぱの中央に実をつけたハナイカダや可憐なムラサキシキブの花が見られた。やがて大きな谷の合流地点に出る。ここが登山口。杉の植林地の登りであるが、天然杉と見られる巨木が辺りに点在している。斜度が結構きつく道は蛇行して続いている。標高610mにある送電鉄塔辺りから道は穏やかになり歩きやすい。

P813mにある送電鉄塔をこえて北に進むと、久多峠からの道に出会う。ここから暫くは灌木や下草の多い尾根道となり、昨夜の雫が残っておりズボンが濡れる。

桑谷山の山頂は樹林に囲まれ展望はない。本日の下山コースは少々複雑な尾根を繋いで歩くので慎重な読図が必要である。山頂から少し西に歩き、南西に張り出した尾根を見つけて下ってゆく。痩せ尾根になるとシャクナゲの木が多くなり岩稜歩きとなるが距離は短い。岩稜歩きが終わると歩きやすい尾根歩き。イワガラミの花盛りで絡みつかれた木々にすれば迷惑な話。南東方面に展望が開けた場所には杉の巨木があり見事な立ち姿を見せる。景色が良いのでここでランチタイム。峰床山や皆子山などが見える長閑で穏やかな雰囲気、気持ちが良い。昼食後のコースを地形図で下調べ。ここから3つ目の小ピークを左に折れるというイメージを頭に入れておく。

昼食後、先頭を歩いていると左前方に違和感。近づくとラン科のツチアケビの黄色い花が2本見事に咲いている。ツチアケビはナラタケと共生するという、葉緑素を持たない腐生植物。

3つ目のピークの尾根分岐は簡単に見つかった。自然林の多い気持ちの良い尾根が続いている。相変わらず杉の巨木が点在しており退屈しない。

最後の詰めはほぼ南に向かうヤセ尾根であるが、方向を間違えると急斜面になるのでコンパスを慎重に合わせて歩く。程なく植林帯となり痩せ尾根を慎重に辿ると、朝置いた車の姿が見えてきた。

★メンバー 三鍋 他2名

★コース 林道駐車場 8:25～登山口 8:43～尾根 9:25 発 30～P622m9:37～桑谷山 10:30 発 40～大杉 11:12 発 46 下降点 12:00～P754m12:12～林道 13:04 車 15:06